



工種	現状	対応
① 山腹工	植生②	実播 土のう ファイバー
① 溪間工	〈本流〉 機能○ 〈スリット〉 土砂流出△	ダム山腹工追加 本流に本製ダム追加 (最上流部)
② 魚道	生物多様性△	魚道整備 (下流調査必要)
② 森林整備	一次林は成林 植栽工(桜)△	二次林の造成 (下り間伐植栽) 動物の侵入 実生・植生の導入
③ 溪間工	〈本流〉 機能○ 〈スリット〉 土砂流出△	ダムの追加(本製) ダム山腹工の追加
③ 山腹工	植栽工△	複層林化 案内板にQRコード 樹名板

令和7年度北海道森林土木設計協会現地研修会



日時 令和7年10月17日(金) 9:30~14:00

場所 「治山の森」 当別町青山奥 道民の森・神居尻地区



北海道森林土木設計協会

【目 的】

森林土木に関する知見を広め、高度な技術を習得し協会員の技術向上を図ること、併せて若手技術者の交流の機会とし、グループ討議や現場見学を通じて課題解決能力やチームワークを養い、将来的な技術リーダーとしての資質向上を図る。

【研修テーマ】

北海道民有林治山事業50周年を記念して施工され、30年近く経過し100年目となる2047年に再整備するとしたら、どのような「治山の森」を考えられますか？

1. どのような工種・種別が考えられるか
2. 治山の森を生物多様性の観点を主眼にどのように改良するか
3. 防災の面で機能を向上させるために、何をするか

※ あらかじめ出席者を班編成(6～8名/班)し、現地研修・室内研修を経て班単位で意見を集約し発表して頂きます。

【対 象 者】

北海道森林土木設計協会会員(防災アドバイザー認定者、推薦予定者他、若手技術者(入社5年目程度など各社の判断に委ねる))

【開 催 日】

令和7年10月17日(金)

【場 所】

現地研修:「治山の森」道民の森・神居尻地区(当別町青山奥)

室内研修:道民の森・神居尻地区 森林学習センター研修室A